

GLORY

GLORY REPORT

グロリーレポート

トップメッセージ

『長期ビジョン2018』の目標達成に向けて
着実にステージを進めてまいります

p06

製品トピックス

自動支払機をもっと多くの病院に

p07

特集

CASHINFINITY™で
世界の流通市場をリードする

第70期
報告書

平成27年4月1日から
平成28年3月31日まで

Contents

ハイライト	01	トップメッセージ	02	製品トピックス	06
特集	07	財務データ	09	会社情報	10
株主メモ					

グローリー株式会社

GLORY Highlights

2,269 億円

売上高

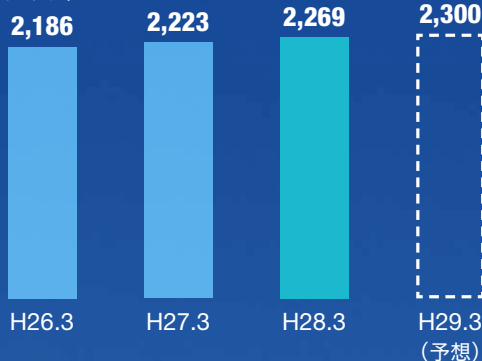
205 億円

営業利益

● 本頁に記載の数値は、いずれも連結ベースです。

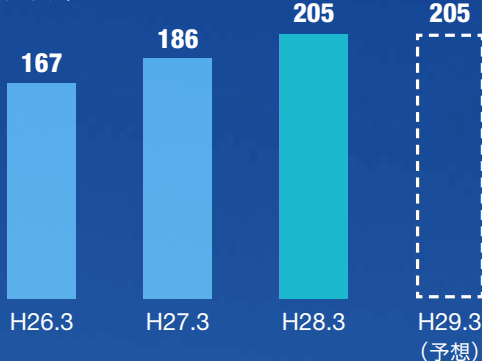
売上高

(単位:億円)



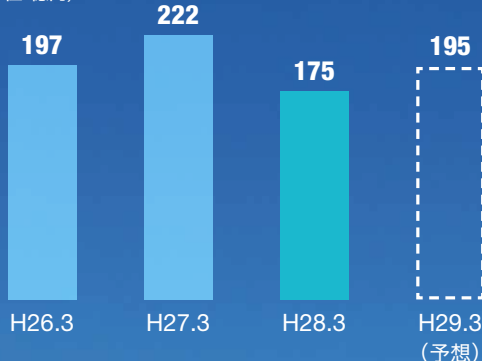
営業利益

(単位:億円)



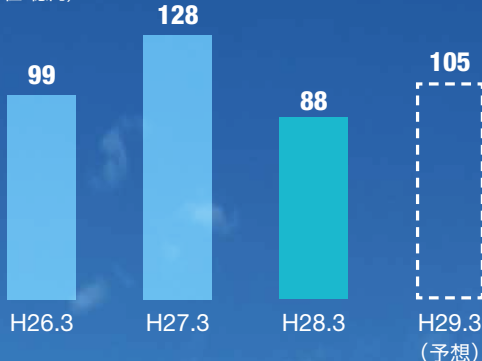
経常利益

(単位:億円)

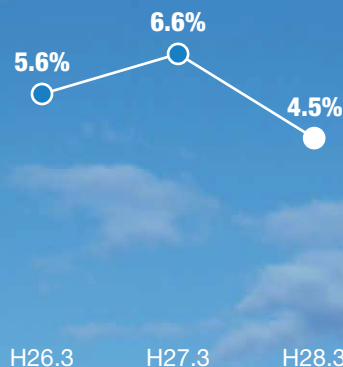


親会社株主に帰属する当期純利益*1

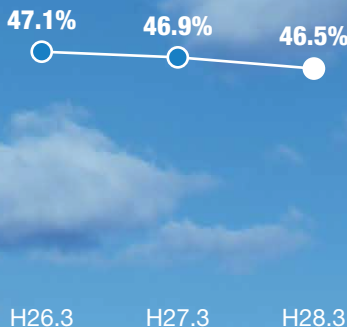
(単位:億円)



ROE



海外売上高比率



*1 表示方法の変更について:「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)等を適用し、平成28年3月期より、「当期純利益」を「親会社株主に帰属する当期純利益」としております。(以下、本誌において同じ)

*2 会計方針の変更について:平成28年3月期より、在外子会社の収益及び費用の換算方法を変更しております。当該会計方針の変更は遡及適用され、平成27年3月期については遡及適用後の数値を記載しております。なお、平成26年3月期以前に係る累積的影響額については、平成27年3月期の期首の純資産に反映させております。(以下、本誌において同じ)



『長期ビジョン2018』の
目標達成に向けて
着実にステージを
進めてまいります

代表取締役社長

尾 上 弘 和

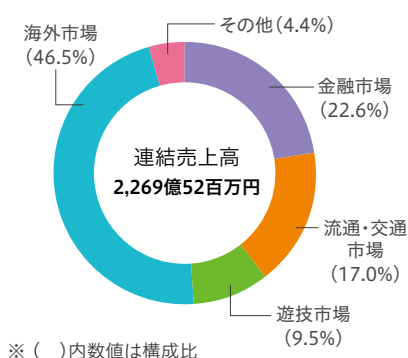
平成28年3月期の事業概況と業績について

国内は金融市場、流通・交通市場、海外は北米・欧州が業績を牽引

当社グループは、平成27年4月からの3ヶ年を計画期間とした『2017中期経営計画』の初年度として、“長期ビジョン達成に向けた「顧客起点のモノづくり」による事業成長と収益性向上”を基本方針に諸施策を積極的に展開した結果、売上高、営業利益ともに前期を上回り、6期連続の増収増益を達成いたしました。

セグメント別にみますと、国内事業につきましては、金融市場と流通・交通市場が業績を牽引いたしました。金融市場では、「オープン出納システム」の販売が、中小規模店舗向けコンパクトタイプの新規受注等により増加いたしました。流通・交通市場では、大口商談の獲得等により、「レジつり銭機」の販売が大きく伸びました。一方、遊技市場では、ホールの設備投資抑制の影響を受け、「カードシステム」の販売が低調でありました。

セグメント別売上高



	平成27年3月期(前期)	平成28年3月期(当期)	前期比
金融市場	481億 16百万円	513億 38百万円	+6.7%
流通・交通市場	298億 86百万円	386億 15百万円	+29.2%
遊技市場	254億 32百万円	215億 6百万円	-15.4%
海外市場	1,042億 41百万円	1,055億 95百万円	+1.3%
その他	146億 79百万円	98億 95百万円	-32.6%
合計	2,223億 56百万円	2,269億 52百万円	+2.1%

海外事業につきましては、中国等の新興国において販売が低迷したものの、欧米での販売拡大が市場全体の業績を支えました。北米や欧州では、金融機関において積極的な設備投資が進み、窓口用「紙幣入出金機」の販売が増加いたしました。また、欧州の流通市場では、新規顧客の開拓が進み、小売店舗向け現金管理システム「CASHINFINITY™」の販売が大きく伸びました。一方、アジアでは、中国における市場競争激化の影響を受け、「紙幣整理機」の販売が伸び悩みました。

平成29年3月期の重点施策について

3つの戦略を柱に、事業成長と収益性向上を推進

平成29年3月期は、『2017中期経営計画』の2年目として、引き続き、「事業戦略」、「機能戦略」、「企業戦略」の3つの戦略を柱に、事業成長と収益性向上を推進してまいります。

まず、「事業戦略」につきましては、国内事業において、各支店や営業所等の現場営業力を強化し、主要製品である「オープン出納システム」や「レジつり銭機」等の更新需要を確実に獲得するとともに、新規顧客の開拓も進めてまいります。また、当社独自の生体認証技術や電子決済サービス等を含めた新たなビジネスモデルや、次期基幹製品の創出にも取り組んでまいります。

一方、海外事業においては、より成長が期待できる欧米において、積極的に市場を開拓してまいります。具体的には、当期に種をまいた窓口用「紙幣入出金機」の商談を確実に進めるとともに、小売店舗向け現金管理システム「CASHINFINITY™」(7頁ご参照)を積極的に展開し、事業領域の拡大を図ります。アジアでは、引き続き、直販・直メンテナンス網の拡充や新規顧客の開拓を進めてまいります。また、当社グループは、さらなる海外事業の拡大を目指し、ニュージーランドの販売代理店「Advanced Transaction Systems Ltd.」、及び、通貨処理機のソフトウェア開発企業である米国の「REV Ventures LLC」を買収いたしました。引き続き、M&A戦略を強化してまいります。



長期ビジョン2018

基本方針

- 「モノづくり」の技術で新たな価値を創造し、夢へ挑戦する
- CSR活動を通じて、社会とともに継続的な企業成長を図る

2017中期経営計画

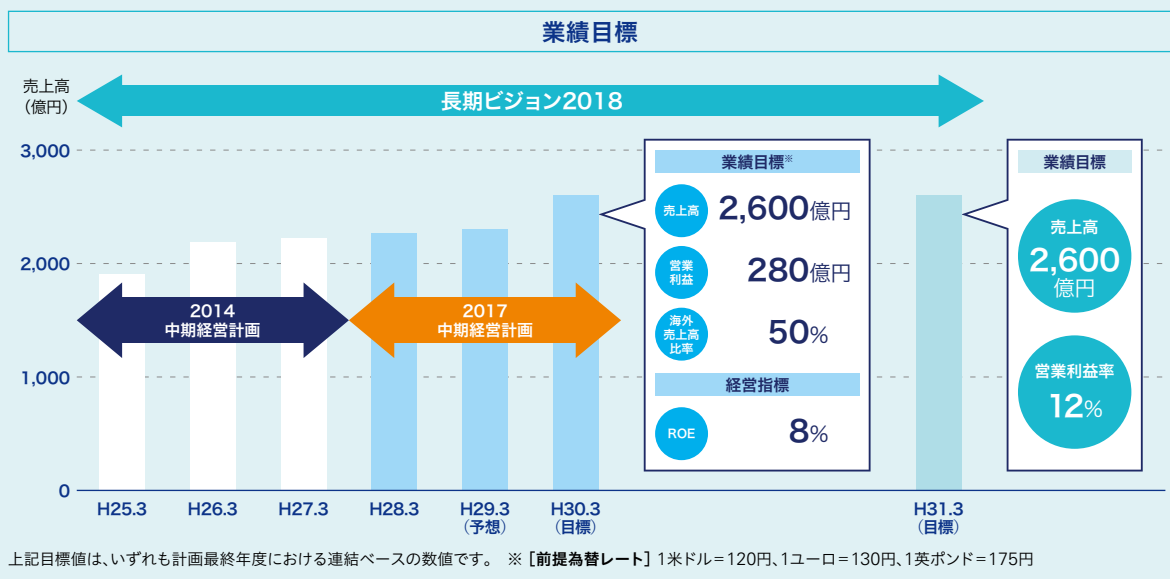
基本方針

長期ビジョン達成に向けた
「顧客起点のモノづくり」による事業成長と収益性向上



基本戦略

事業戦略	機能戦略	企業戦略
事業規模・領域の拡大による 収益性向上	市場ニーズに応える製品及び サービスのタイムリーな提供	グループ経営基盤の強化
<ul style="list-style-type: none"> ● 国内事業 ● 海外事業 	<ul style="list-style-type: none"> ● 製品開発 ● 生産・調達 ● 品質保証 	<ul style="list-style-type: none"> ● グループ・ガバナンス ● 人事 ● 資本・財務 ● 情報システム



「機能戦略」では、市場ニーズに応える製品・サービスを、よりタイムリーに提供するために、グループ開発体制の強化やグローバル生産体制の確立に向けた取組みを推進し、世界において卓越した競争力を備えた企業となることのできるよう努めてまいります。

「企業戦略」では、当社グループの事業活動がますます拡大するなか、グループ・ガバナンスの強化やダイバーシティ推進等による人的資源の強化、情報インフラの整備等により、一層の企業価値向上を図ってまいります。

次期の見通しについて

『2017中期経営計画』の各戦略を着実に実行

次期のが国の経済につきましては、急激な円高や株価変動等の不安要因はあるものの、雇用情勢や所得環境の改善等を背景に、景気は引き続き回復基調で推移するものと予想されます。一方、世界経済につきましては、米国の景気拡大などにより、緩やかに回復するものの、中国経済の減速懸念や新興国の景気低迷等により、先行きの不透明感は引き続き高いものと予想されます。

こうした状況のなか、『2017中期経営計画』の2年目として前述の各戦略を着実に実行し、平成29年3月期の連結業績につきましては、売上高2,300億円、営業利益205億円、経常利益195億円、親会社株主に帰属する当期純利益105億円の達成を目指してまいります。

配当について

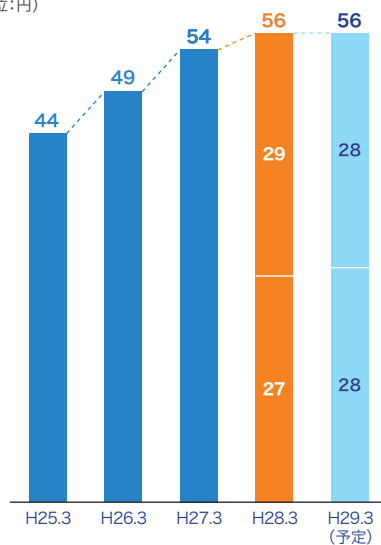
当期の配当は、前期比2円増の1株あたり56円

当社は、将来の事業展開に備えた財務体質の維持・強化を図りつつ、安定した配当を継続することを基本方針とし、連結配当性向30%以上を目標に配当を実施することとしております。この方針に基づき、当期末の配当につきましては、期初予想の27円に2円を加え、1株あたり29円とさせていただきます。これにより、中間配当金27円を加えた年間配当金は、前期比2円増の56円となりました。

次期の配当につきましては、1株につき56円(中間配当金28円、期末配当金28円)とさせていただきます予定です。

配当金の推移

(単位:円)



株主のみなさまにおかれましては、今後ともなお一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

みんなに
うれしい!

自動支払機を もっと多くの病院に

～自動支払機〈FHP-S10〉を開発～

病院において、診療費の精算を来院者自身で行うことができる「自動支払機〈FHPシリーズ〉」。来院者は会計待ち時間が短くなり、病院スタッフは会計業務の負担が軽くなる、双方にメリットのある製品です。これまで、総合病院など大規模の病院に導入が進む一方、中小規模の多くの病院では、設置スペースが取れないといった課題がありました。

そこで当社は、平成28年5月、従来製品を大幅にコンパクト化した本製品を発売いたしました。病院だけでなく、調剤薬局など幅広い医療機関のご要望にお応えてまいります。

従来機比 **43%** コンパクト化

※ 当社従来機 (FHP-20) との比較

高さ
-20.5cm
(従来機比)

奥行き
-17cm
(従来機比)

幅 **53cm**
スリムサイズ設計
-12cm
(従来機比)

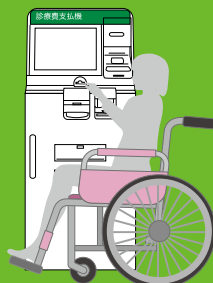
〈FHP-S10〉の特長

みんなが使いやすい設計

高齢者や車イスの方など、あらゆる人に配慮したユニバーサルデザイン設計です。



色覚の多様性に配慮した製品として、タッチパネル画面は「カラーユニバーサルデザイン」認証を取得



車イスでのご利用に配慮し、画面のボタンを下部に配置

印刷物の取り忘れを防ぎ、 患者さんのプライバシーを保護

領収書や診療報酬明細書等を取り忘れないよう、画面でガイダンス。さらに、一定時間抜き取られなかった場合は、自動で機械に取り込んで保管します。



担当者の 声



国内事業本部
商品企画統括部 商品企画三部
商品企画3グループ

砂原 久美

自動支払機を利用される患者さまの視点に立ち、本製品を開発いたしました。使う方の年齢や使用環境にかかわらず、あらゆる人にとって使いやすいユニバーサルデザイン設計、初めての方にも安心な操作ガイダンス、さらには利用される患者さまのプライバシーにも配慮し、すべての方が簡単に、安心して利用できる製品となりました。

より多くの医療機関に本製品を導入いただくことで、もっと多くの患者さまに、その医療機関のホスピタリティを感じとっていただきたいと思います。

これからも、当社ならではの技術やアイデアで、“みんなにうれしい”製品を開発してまいります。

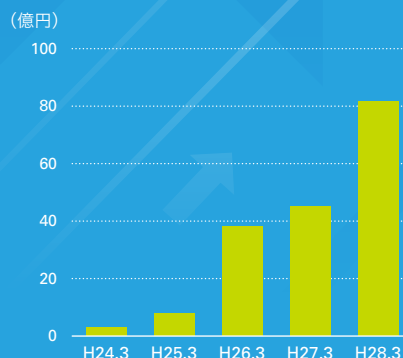
CASHINFINITY™で 世界の流通市場をリードする

当社は、「2017中期経営計画」の戦略の1つとして、“海外流通市場における事業拡大”を掲げております。海外流通市場の主力製品が、小売店舗向け現金管理システムCASHINFINITY™ (キャッシュインフィニティ)です。

海外の小売店舗では、今でも手作業による売上金の精算やつり銭の準備が行われており、業務の効率化やセキュリティ向上のため、現金管理の機械化ニーズが高まっています。

ここでは、店舗の様々な課題を解決し、世界の流通市場で販売拡大を続けるCASHINFINITY™についてご紹介いたします。

海外流通市場向け製品の売上高推移



「CASHINFINITY™」とは

CASHINFINITY™は、海外の小売店舗において、店員が現金に触れることなく、レジでの現金受け渡しやバックオフィスでの売上金精算等を行うことができるシステムです。また、レジやバックオフィスの現金量をリアルタイムで把握できるので、店舗内現金の最適な運用が可能です。



紙幣・硬貨 入出金機 〈CI-100〉



つり銭機から取り出した収納カセットをセットするだけで、売上金の精算が完了します。つり銭用の紙幣は、自動でカセットに準備されます。

在高管理 サーバー 〈CI-SERVER〉



紙幣・硬貨 レジつり銭機 〈CI-10〉



買物客側に現金の投入口を設置し、買物客自身が代金の入金やつり銭の受取りを行います。また、セルフレジと組み合わせるなど、様々な運用方法に対応できます。

バック オフィス

紙幣を持ち運ぶときは、
収納カセットごと機械から取り出します。

レジ カウンター

セルフ レジ

※ CASHINFINITYはグローリー株式会社の登録商標(日本、欧州、米国 他において)です。

フランスのベーカリー

フランスでは、数百店舗のベーカリーに〈CI-10〉が導入されています。店員が現金に触れないので衛生的で、店舗のイメージアップにも繋がっています。



レジカウンター

こんなところで活躍しています！

CASHINFINITY™は、通貨処理のシステム化が進む欧州を中心に導入され、世界へと広がっています。

ドイツのTop Produkt Handel 2016で金賞を受賞！

「Top Produkt Handel」は、流通業界に革新をもたらす製品に贈られる賞です。8回目となる当アワードにおいて、100製品以上もの応募の中から、〈CI-10〉が「決済マネジメント部門」の最優秀製品として金賞を受賞いたしました。



海外流通市場 責任者

Siôn Roberts
(シオン・ロバーツ)

CASHINFINITY™は、店員が現金に触れない、正確かつ効率的な現金管理を可能にするという点だけでなく、高い品質や操作性、先進的なデザインもお客さまから高く評価されています。

今後は、当社の直接販売網だけでなく、販売店とのパートナーシップにより、世界中でマーケティング活動を行ってまいります。また、製品ラインナップの充実も図り、お客さまにより最適なソリューションをご提供してまいります。

CASHINFINITY™の発売から約5年が経ち、欧州を中心に実行してきた様々な戦略の成果が着実に実を結んでおります。米州やアジアにおいても販売を拡大し、海外金融市場と同じく成長を遂げてまいります。

ヨーロッパのハイパーマーケット※

ハイパーマーケットでは、CASHINFINITY™の導入が加速しています。大手の「Auchan（オーシャン）」では、最新の設備を備えるコンセプトショップに、〈CI-10〉と〈CI-100〉が合わせて40台以上導入されています。

レジカウンター



セルフレジ

「Auchan」の
コンセプト
ショップ

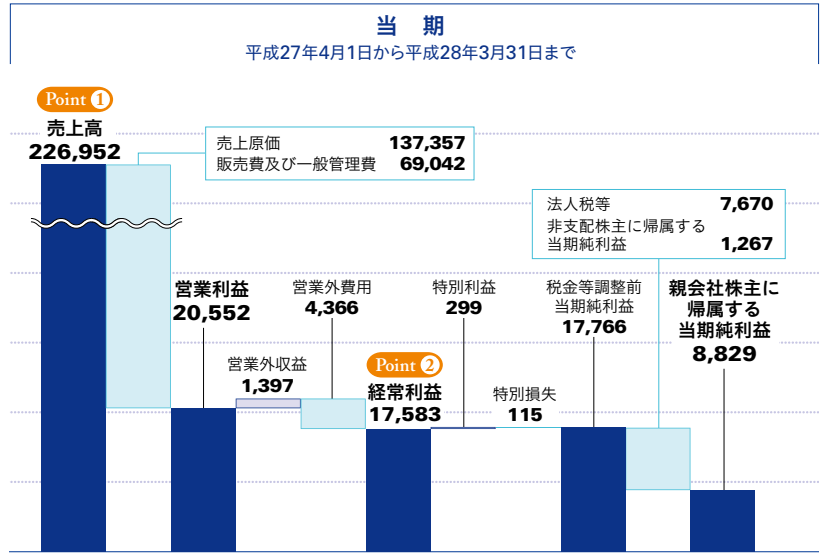
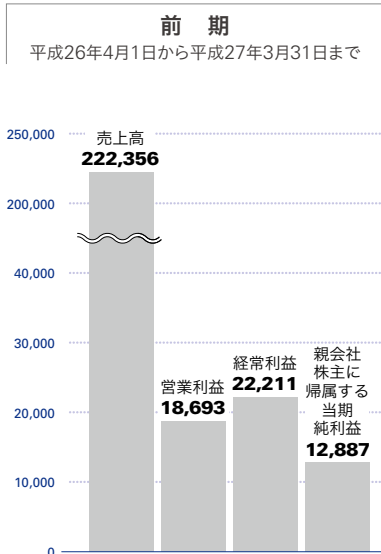
※ ハイパーマーケット

20台以上ものレジが並ぶ大型量販店。食品のほか、衣料品や日用品など幅広い商品を販売しています。



欧州最大の流通製品展示会「EuroCIS」での授賞式の様子

連結損益計算書の概要 (単位: 百万円)



Point

① 売上高

遊技市場の販売は低調でしたが、金融市場、流通・交通市場、海外市場の販売が増加したことから、前期に比べ2.1%増加しました。

② 経常利益

売上高の増加に伴い営業利益は前期に比べ9.9%増加したものの、為替差損が33億95百万円発生したこと等により、前期に比べ20.8%減少しました。

③ 固定資産

タラリス社買収に伴う「のれん」等の償却が進み、無形固定資産が前期に比べ158億16百万円減少しました。

④ 負債

タラリス社買収に伴う借入金の返済を進めた結果、前期に比べ短期借入金が31億36百万円、長期借入金が102億6百万円減少しました。

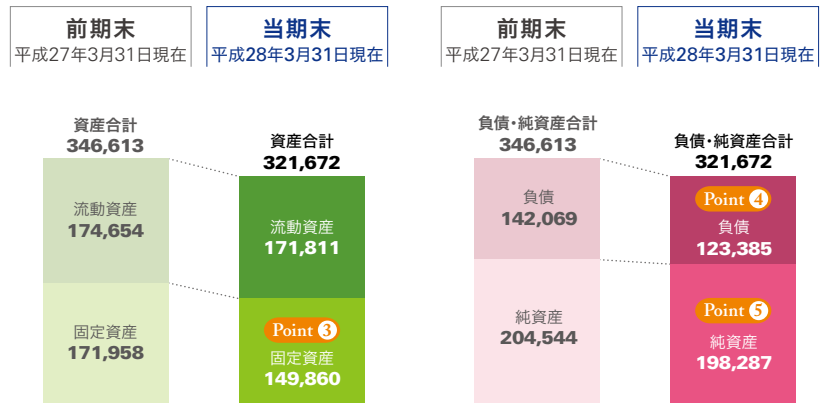
⑤ 純資産

利益剰余金は増加したものの、為替換算調整勘定の減少等により、前期に比べ62億57百万円減少しました。

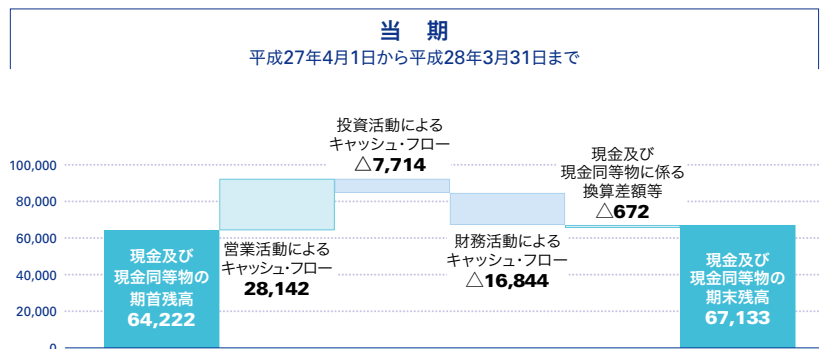
⑥ 連結キャッシュ・フロー計算書

投資活動によるキャッシュ・フローは77億14百万円のマイナス、財務活動によるキャッシュ・フローは168億44百万円のマイナスであったものの、営業活動によるキャッシュ・フローは281億42百万円のプラスとなったことにより、現金及び現金同等物の当期末残高は前期末と比べて29億10百万円増加し、671億33百万円となりました。

連結貸借対照表の概要 (単位: 百万円)



連結キャッシュ・フロー計算書の概要 (単位: 百万円)



会社概要

商号	グローリー株式会社 GLORY LTD.
設立	昭和19年(1944年)11月27日
資本金	12,892,947,600円
ウェブサイト	http://www.glory.co.jp
従業員数	3,244名(連結 8,177名) (平成28年3月31日現在)
本社	〒670-8567 兵庫県姫路市下手野一丁目3番1号 TEL: 079-297-3131 (代表)
事業所	本社・本社工場 (兵庫県姫路市) 東京本部 (東京都千代田区) 品川事業所 (東京都品川区) 埼玉工場 (埼玉県加須市) 支店等 東北支店(宮城県)、関東支店(埼玉県)、 上信越支店(群馬県)、首都圏支店(東京都)、 東海支店(愛知県)、近畿支店(大阪府)、 中国支店(広島県)、四国支店(香川県)、 九州支店(福岡県) 姫路物流センター、姫路パーツセンター 39営業所、33出張所、3サービスセンター

連結子会社

【国内】

グローリープロダクツ株式会社
 グローリーAZシステム株式会社
 グローリーサービス株式会社
 北海道グローリー株式会社
 グローリーIST株式会社
 グローリーナスカ株式会社
 株式会社グローリーテクノ24

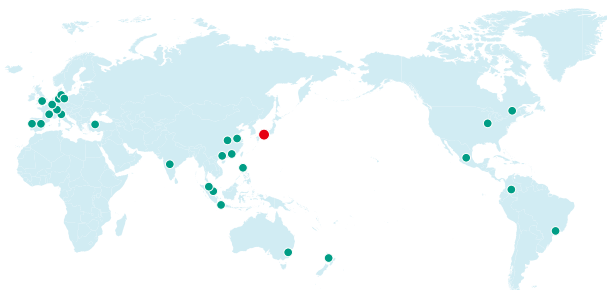
【海外】

光栄電子工業(蘇州)有限公司
 GLORY (PHILIPPINES), INC.*
 Sitrade Italia S.p.A.
 Glory Global Solutions Ltd.
 Glory Global Solutions (International) Ltd.
 Glory Global Solutions (France) S.A.S.
 Glory Global Solutions Inc.
 Glory Global Solutions (Singapore) Pte. Ltd.
 Glory Global Solutions (Shanghai) Co., Ltd.

他26社

*GLORY (PHILIPPINES), INC.は、平成28年3月期より連結子会社となりました。

当社グループの主な拠点



役員一覧

取締役

代表取締役社長	尾上 広和
代表取締役	三和 元純
取締役	尾上 英雄
取締役	馬淵 成俊
取締役	小谷 要
取締役	原田 明浩
社外取締役	佐々木 宏機
社外取締役	新島 昭

監査役

常勤監査役	大谷 俊彦
常勤監査役	長島 正和
社外監査役	中上 幹雄
社外監査役	濱田 聡

株式の状況 (平成28年3月31日現在)

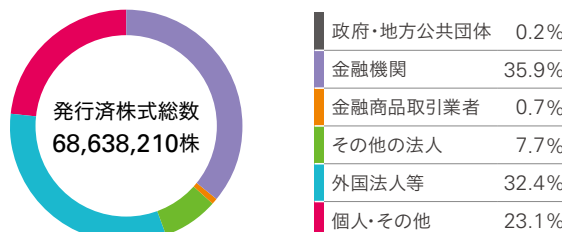
発行可能株式総数	150,000,000株
発行済株式の総数	68,638,210株 (自己株式 2,749,737株を含む)
株主数	6,046名(前期比 1,204名減)

大株主

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
日本生命保険相互会社	3,427	5.0
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,869	4.2
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505223	2,642	3.9
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,597	3.8
株式会社三井住友銀行	2,100	3.1
グローリーグループ社員持株会	1,983	2.9
JP MORGAN CHASE BANK 385174	1,791	2.6
タツボーファッション株式会社	1,500	2.2
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	1,357	2.0
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE IEDU UCITS CLIENTS NON LENDING 15 PCT TREATY ACCOUNT	1,017	1.5

(注) 上記のほか、当社が所有している自己株式2,749,737株があります。

所有者別株式分布状況



株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月に開催いたします。

基準日 定時株主総会 3月31日
期末配当 3月31日
中間配当 9月30日
その他必要があるときは、
あらかじめ公告して定めます。

単元株式数 100株

上場証券取引所 東京証券取引所 市場第一部

証券コード 6457

公告方法 電子公告によります。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
[公告掲載URL]
<http://www.glory.co.jp>

株主名簿管理人／
特別口座の口座管理機関

三菱UFJ信託銀行株式会社

〔各種お問合せ先／
郵便物送付先〕

三菱UFJ信託銀行株式会社
大阪証券代行部

〒541-8502

大阪市中央区伏見町三丁目6番3号

TEL：0120-094-777 (通話料無料)

受付時間 9：00～17：00

(土、日、祝祭日、年末年始を除く)

〔ウェブサイトアドレス〕

<http://www.tr.mufig.jp/daikou/>

(ご注意)

1. 株主さまの住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店でもお取扱いいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

早春の「白鷺城」を目指して、10,000人のランナーが駆け抜ける

「世界遺産姫路城マラソン2016」に協賛

世界文化遺産 姫路城



当社は、本社のある兵庫県姫路市で平成28年2月28日に開催された「世界遺産姫路城マラソン2016」に協賛いたしました。

当日は、約50名の社員が地元への感謝の気持ちを胸にボランティアとしてランナーをサポートするとともに、当社からも多数のランナーが出場し、大会を盛り上げました。



ランナーに声援を送る
社員ボランティア



応援をバックに
完走を目指す社員ランナー



地球環境保護のためにFSC®認証紙と大豆油インキを使用しています。